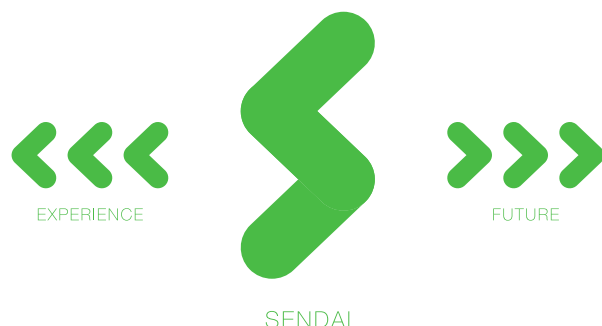




仙台防災 未来フォーラム2017

— 経験を伝える・共有する・継承する —

2017.3.12_{sun}
10:00~18:00

会場／仙台国際センター展示棟

[主催] 仙台市

[仙台防災未来フォーラム2017 運営事務局] 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング (株)コングレ東北支社内

HP <http://sendai-resilience.jp/mirai-forum2017/> [仙台防災未来フォーラム](#) [検索](#)

開催概要

仙台防災未来フォーラム2017

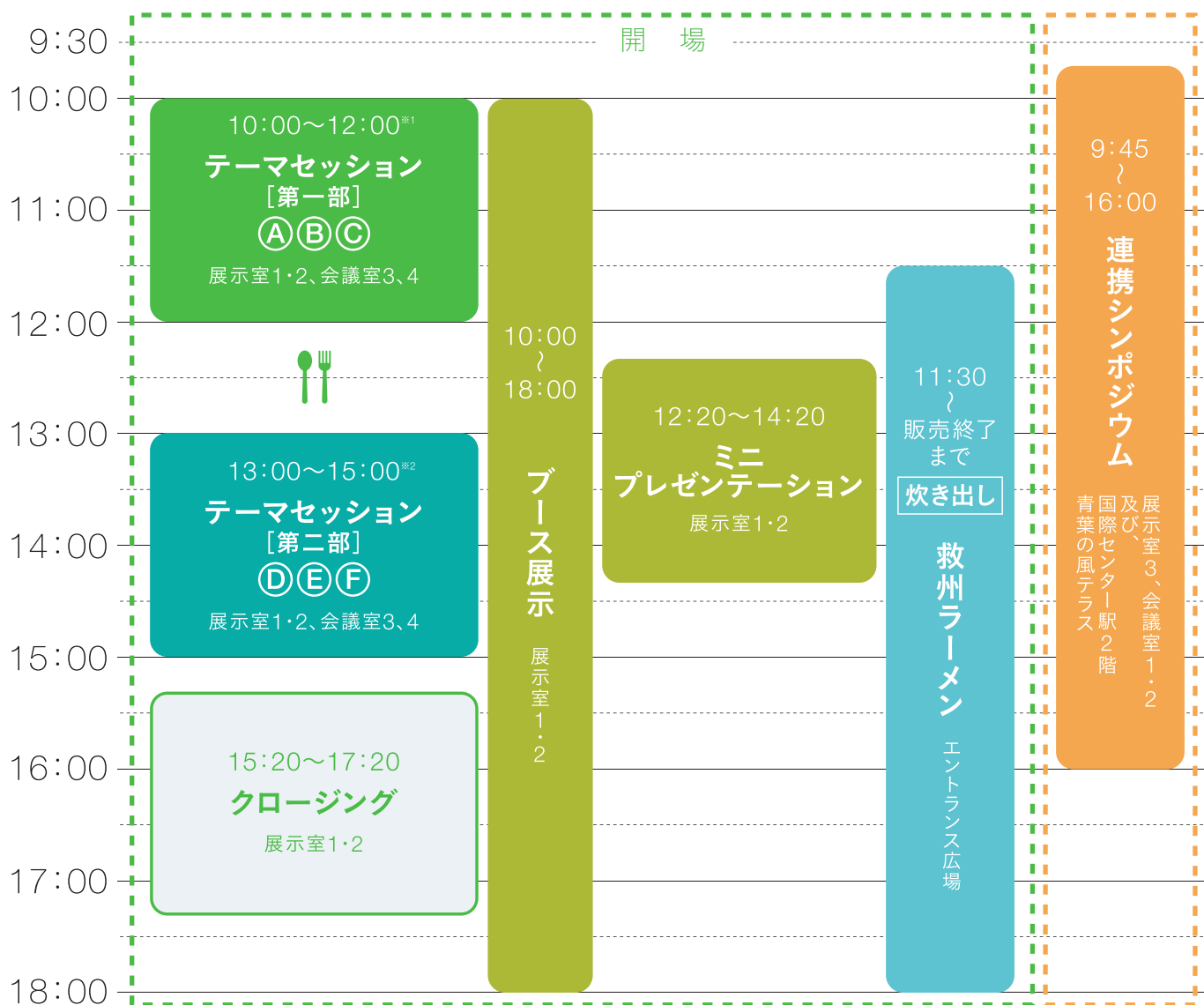
震災から6年を迎える今、震災の経験と教訓を地域や世代を超えて、どのように「伝える」かが改めて問われています。このフォーラムでは、震災経験の伝承、地域防災の次代の担い手づくり、人々の多様性と防災などのさまざまなテーマから、「伝える」ことの大切さや今後の課題について理解を深め、経験や教訓を世界へ、そして将来へどのように受け継いでいけばよいのかを考えます。



▲ 昨年の仙台防災未来フォーラム2016の様子(仙台国際センター会議棟)

スケジュール

会場／仙台国際センター展示棟



※1 セッション(A)は10:15~12:00 ※2 セッション(E)は13:00~15:30



お弁当も販売します(数量限定)。レストスペースでお召し上がりください。

プログラム

テーマセッション [第一部][第二部] 会場／展示室1・2、会議室3、4

多様な主体(マルチステークホルダー)による防災・減災・復興の取り組みや、課題、方向性、将来像を報告します。

A ともに考える防災・減災の未来 ～「私たちの仙台防災枠組講座」、「『結』プロジェクト」合同報告会～	定員200名 申込優先	10:15～12:00 会場／展示室1・2
[主催] 東北大学災害科学国際研究所、仙台市	[問合せ] 東北大学災害科学国際研究所 TEL 022-752-2090 FAX 022-752-2091 仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室 TEL 022-214-8098 FAX 022-214-8497	

概要

前半は今年度実施した「仙台防災枠組^{*1}連続講座」の受講生から、講座での気づきや、今後の地域の防災・減災の取り組みへの仙台防災枠組の活用等について発表します。後半は、「『結』プロジェクト^{*2}」の参加校3校による、防災・減災を進める実践活動の報告会を行います。国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所松岡由季代表をお招きし、ご講演をいただきます。



^{*1} 第3回国連防災世界会議で採択された2030年までの国際的な防災の取組指針。
^{*2} 東日本大震災の経験を元に考案された減災ポケット「結」(ハンカチ)を活用し、日本や世界へ減災意識を広め、次の災害の被害を少しでも減らすことを目標とした東北大学と仙台放送によるプロジェクト。

プログラム

- 【パート1】
- 開会・講座概要…今村 文彦 氏(東北大学災害科学国際研究所 所長)
 - 受講者による発表
 - ① 大内 幸子 氏(せんだい女性防災リーダーネットワーク)
 - ② 関内 昭一 氏(将監町内会自治会連絡協議会)
 - ③ 菊地 正衡 氏(特定非営利活動法人 防災士会みやぎ 理事長)
 - まとめ…今村 文彦 氏(東北大学災害科学国際研究所 所長)
- 【パート2】
- 開会・プロジェクト概要…保田 真理 氏(東北大学災害科学国際研究所 助手)
 - 減災活動発表会
 - 岩沼市立玉浦小学校 ●亘理町立荒浜小学校 ●角田市立東根小学校
 - まとめ…保田 真理 氏(東北大学災害科学国際研究所 助手)
- 【全体講評・まとめ】
- 今村 文彦 氏(東北大学災害科学国際研究所 所長)
 - 松岡 由季 氏(国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所 代表)

B 震災から6年・教訓伝承と防災啓発の未来 ～連携と発信の拠点づくりに向けて	定員100名 申込不要	10:00～12:00 会場／会議室4
[主催] みやぎ防災・減災円卓会議	[問合せ] 河北新報社防災・教育部 TEL 022-211-1591 FAX 022-211-1339	

概要

国連防災世界会議開催を機に防災発信を継続・強化することを目指して2015年4月に発足した任意組織「みやぎ防災・減災円卓会議」(研究機関、経済団体、行政、市民団体、報道機関など48団体、83人登録)が1年間の活動を総括し、今後の連携の方向性を討議します。被災地発の震災教訓の伝承と防災啓発の統合的な発信に向けて、必要とされるテーマや基盤作りのあり方について意見を交わします。



プログラム

防災・減災推進のための拠点組織は、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の被災地で先行例があります。東日本大震災の被災地でも同様の組織づくりを目指し、意見交換を行います。

C インクルーシブ防災をめざした地域づくり	定員150名 申込不要	10:00～12:00 会場／会議室3
[主催] 東北福祉大学、障がい者の減災を実現するイニシアティブ研究会、仙台市障害者福祉協会	[問合せ] 東北福祉大学 TEL 022-233-3111(代表) FAX 022-301-1293	

概要

東日本大震災を機に防災・減災への関心は高まり、日頃からの備えと対策が必須だと言われています。非常時(災害時)の対応は平時の取り組みの延長です。そして、災害時により安全で安心した避難や生活を送るためには、平時における地域住民の相互理解とネットワークの構築が大切です。本セッションでは、国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」より、ステークホルダーの役割を問いながら、インクルーシブ防災をめざした地域づくりについて皆様とともに議論を深めて参ります。また、東北福祉大学の研究プロジェクト成果(「東日本大震災が障害児者とその家族にもたらした生活課題と復興への取り組み」)についてもご紹介します。

プログラム

10:00 開会宣言	10:55 報告④ 高橋 洋子、阿部 一彦
10:02 セッション概要説明・報告者紹介	11:10 指定討論 小関 理、金子光宏
10:10 報告① 立木 茂雄	11:20 質疑応答
10:25 報告② 山崎 栄一	11:50 総括
10:40 報告③ 三浦 剛	12:00 閉会宣言

- 【コーディネーター】
- 三浦 剛 氏(東北福祉大学総合福祉学部 教授)※報告者兼
- 【報告者】
- 立木 茂雄 氏(同志社大学社会学部 教授)
 - 山崎 栄一 氏(関西大学社会安全学部 教授)
 - 高橋 洋子 氏(仙台市健康福祉局障害企画課 課長)
 - 阿部 一彦 氏(東北福祉大学総合福祉学部 教授/仙台市障害者福祉協会 会長)
- 【指定討論者】
- 小関 理 氏(脊髄梗塞 患者と家族の会)
 - 金子 光宏 氏(仙台市障害者総合支援センター 所長)

D

“地域のきずな”が生きた防災まちづくり～仙台市の事例から学ぶ～

定員200名 申込優先

13:00～15:00 会場／展示室1・2

[主催] 仙台市

[問合せ] 仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室 TEL 022-214-8098 FAX 022-214-8497



概要

持続可能な防災まちづくりを進めていくためにも、日頃からの“顔の見える”人と人とのネットワークや地域コミュニティづくりがまず大切です。このセッションでは、日常的なまちづくり活動が活発で、それが防災の優れた取り組みにもつながっている事例を参加者の皆さんと共有し、コミュニティにおける地域防災の今後の活動や課題解決のヒントを考えます。

プログラム

- 開会・趣旨説明…佐藤 健 氏(東北大学災害科学国際研究所 教授)
- 仙台市の地域の取り組み事例紹介
 - 事例① 今野 均 氏(青葉区片平地区連合町内会 会長)
 - 事例② 菅井 茂 氏(若林区南材地区町内会連合会 会長)
 - 事例③ 菅原 康雄 氏(宮城野区福住町町内会 会長)
- まとめ…佐藤 健 氏(東北大学災害科学国際研究所 教授)

E

次世代が語る／次世代と語る～311震災伝承と防災～

定員100名 抽選

13:00～15:30 会場／会議室4

[主催] 河北新報社

[問合せ] 河北新報社営業部 TEL 022-211-1318 (平日10:00～17:00)

概要

東日本大震災から6年になる2017年3月、次世代を担う若者たちと風化を考え、教訓伝承の大切さと防災啓発の重みを共有するトークイベントを開催します。メインゲストは、震災の実相にレンズを向け続けてきたフォトジャーナリスト安田菜津紀さん。2017年4月開講の「311『伝える/備える』次世代塾」のキックオフイベントと位置づけ、次世代育成の機運を盛り上げます。



プログラム

- 企業・団体からのプレゼンテーション①…尚絅学院大学(学生ボランティアチームTASKI)
- 企業・団体からのプレゼンテーション②…河北新報社(防災・教育室)
- 講演…安田 菜津紀 さん(フォトジャーナリスト)
- トークセッション…テーマ「災害伝承の重み～次世代が担うべきもの」
- [パネリスト]
 - 安田 菜津紀 さん(フォトジャーナリスト)
 - 志野 ほのか さん(石巻西高校3年生)
 - 佐々木 奏太 さん(宮城教育大学3年生)
 - 吉田 祐也 さん(東北大学大学院経済学研究科修士1年)
- [コーディネーター]
 - 武田 真一(河北新報社防災・教育室 室長)

F

もしものそえ SENDAIと世界のつながり
～伝えよう、共有しよう、継承しよう～

定員150名 申込優先

13:00～15:00 会場／会議室3

[主催] 独立行政法人国際協力機構(JICA)

[問合せ] 独立行政法人国際協力機構(JICA) 東北支部市民参加協力課
TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090

概要

日本の防災・復興の経験や様々な行政の取り組みが途上国に伝えられ、共有され役立っていることをご存知ですか?日本の防災・復興の経験や仙台市の下水道分野の取り組みがどのように途上国に伝えられ、どのように持続可能な開発目標(SDGs)の貢献に繋がっているのかを、2015年に発生したネパール地震の復興、仙台市による国際協力を通してご紹介します。これから仙台・東北から世界へどのような「経験を伝える・共有する・継承する」ことができるのかを一緒に考えましょう。



プログラム

- 開会…村瀬 達哉 氏(JICA東北)

講演

- ① JICAの防災協力…秋山 慎太郎 氏(JICA地球環境部 防災グループ)
- ② JICAのネパールにおける震災復興支援
 - …室岡 直道 氏(JICA社会基盤・平和構築部 都市・地域開発グループ)
- ③ ネパールにおける震災復興の取り組み
 - Sanjay Sharma 博士(復興庁 次官)
 - Anirudra Nepal 氏(シンドバルチョーク郡 上級監査官)
 - Satis Kumar Bhattarai 氏(ゴルカ郡 計画管理官)
 - Chet Prasad Amagain 氏(バルバック村役場 助役)
 - Sushila Wagle 氏(ゴルカ郡女性組合 職員)
- ④ 仙台・東北と世界とのつながり…水谷 哲也 氏(仙台市建設局下水道経営部経営企画課)
- 質疑応答

クロージング 15:20～17:20 会場／展示室1・2

定員200名 申込不要



概要

フォーラムのまとめとして、それぞれのテーマセッションでの議論結果の報告をもとに、震災の経験や教訓などを「伝える」ことの大切さやその課題について考えるとともに、多様な主体(マルチステークホルダー)による防災・減災の取り組みの今後の方向性などについて参加者で共有します。



プログラム

- 各テーマセッション・連携シンポジウム代表からの報告
- ディスカッション
- まとめ
- 主催者挨拶…奥山 恵美子(仙台市長)
- [コメンテーター]
 - 松岡 由季 氏(国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所 代表)
 - 立花 貴 氏(公益社団法人MORIUMUS 代表理事)
- [コーディネーター]
 - 今村 文彦 氏(東北大学災害科学国際研究所 所長)

申込優先 …事前申込優先ですが、当日参加も可能です。詳しくは、各主催者にお問い合わせください。

申込不要 …直接会場へお越しください。

抽選 …事前申込。応募多数の場合は抽選となっています。詳しくは、主催者にお問い合わせください。

…手話 …要約筆記 …同時通訳

ミニプレゼンテーション 12:20～14:20 会場／展示室1・2

展示出展団体や防災・復興関連団体によるプレゼンテーションやミニトーク（各団体10分程度）。事前申し込みは不要です。

時間	ミニプレゼンテーション会場 (A)	時間	ミニプレゼンテーション会場 (B)
12:20 } 12:30	マルチセクターでの地域の防災・減災と教育・ESD ー市民・企業・ユース・行政で安心して暮らせる地域と防災・減災 [主催] 一般社団法人地域連携プラットフォーム	12:30 } 12:40	地域の未来を考える ～復興ボランティア学ワークショップ [主催] 石巻専修大学山崎ゼミナール
12:40 } 12:50	災害時の外国人支援 ～東日本大震災での経験とこれからの課題～ [主催] 公益財団法人宮城県国際化協会・公益財団法人仙台観光国際協会	12:50 } 13:00	東日本大震災インド国家災害対応部隊 NDRFの活動記録 ーそのとき女川町で何があったのか？ー [主催] 國學院大學研究開発推進機構学術資料センター
13:00 } 13:10	防災・減災ユースネットワークングのために ～あなたの地域のユースの活動を教えてください！～ [主催] 防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)	13:10 } 13:20	宮城県名取市の仮設・復興公営住宅における支援活動 ～新しいふるさとづくり応援プロジェクト～ [主催] 尚絅学院大学ボランティアチームTASKI(たすき)
13:20 } 13:30	青年海外協力隊と復興支援 ー復興から創生へ、玉浦西地区と岩沼市スマイルサポートセンターのあゆみー [主催] 公益社団法人青年海外協力協会、岩沼市スマイルサポートセンター	13:30 } 13:40	復興に関わる学生ボランティアのチカラ [主催] 東北学院大学災害ボランティアステーション
13:40 } 13:50	災害時における外国人への支援体制 [主催] 仙台白百合学園高等学校	13:50 } 14:00	次世代に伝える防災士 [主催] 特定非営利活動法人東北福祉大学防災士協議会Team Bousaisi
14:00 } 14:10	楽しく学ぶ生き抜く力！ [主催] わしん倶楽部	14:10 } 14:20	学校・教育を通じた災害復興・防災・未来づくり ～宮城教育大学の取り組みから～ [主催] 宮城教育大学防災教育未来づくり総合研究センター

※12団体

手仕事品販売

10:00～15:20

会場／展示室1・2

東日本大震災の被災地の女性たちによる手仕事品を販売します。

<出展団体>

- コミュニティサロン ジョイナス アイトピア
[出展品目] 希望の鶴、クリップにゃんこ、復興玉、三陸の絆 等
- 仙台市沿岸 編み会・縫い会
[出展品目] エコたわし、編みぐるみ、ポンポンひよこ 等
- 手作りくらぶ Arabesque
[出展品目] がま口ポーチ、カードケース 等
- りんくる
[出展品目] 木製のキーホルダー、タイル小物 等

救州ラーメン

11:30～販売終了まで

会場／エントランス広場

復興への思いをラーメンに乗せて！
東北被災地でのラーメン提供食数
10,000食超！



救州ラーメンプロジェクト

1食 500円 300食限り

※11:30～無くなり次第終了となります。

救州ラーメンプロジェクトは博多ラーメンの老舗「秀ちゃんラーメン」の河原秀登さんを中心にラーメンの炊き出しによる復興支援を行っています。『より敏速に、より機動力、より団結力を上げて、世界中に笑顔と食と元気を届けたい。』をスローガンに東日本大震災の時には東北20カ所を巡行。自身が被災した熊本地震でも女優・タレントのスザンヌさんやロックバンドGLAYのボーカリストTERUさんと一緒に炊き出しを行い、被災地で不安を過ごす人々に対し『笑顔と食と元気を届けました。地元熊本で行われる音楽フェスや高校の駐車場など様々な場所で日々活動中。

特別展示

「東日本大震災復興と希望の光り」

10:00～18:00

会場／ホワイエ

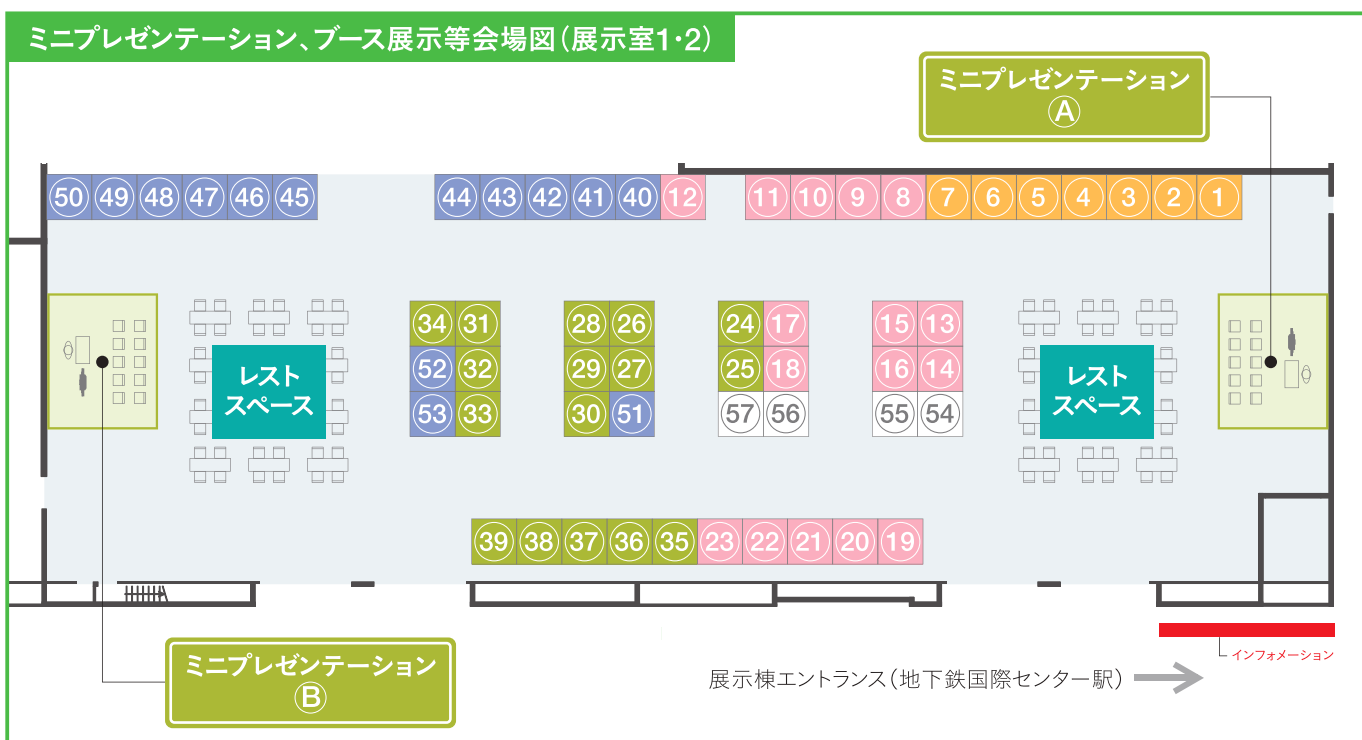
仙台の保育園の壁面制作中に震災に遭ったことをきっかけに絵画による復興支援を行っている画家・少路和伸氏の作品を展示します。



ブース展示等 10:00~18:00 会場／仙台国際センター展示棟 展示室1・2

自治体・政府系団体、地域団体・NPO、研究機関等によるポスター展示等。

地域・市民団体		自治体・政府系団体	
1	雨水ネットワーク東北	37	東北放送株式会社
2	創価学会	38	東社シーテック株式会社
3	全国「道の駅」連絡会/特定非営利活動法人 人と道研究会	39	高野建設株式会社
4	特定非営利活動法人防災・減災サポートセンター	自治体・政府系団体	
5	特定非営利活動法人防災士会みやぎ	40	公益財団法人宮城県国際化協会/ 公益財団法人仙台観光国際協会
6	防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)	41	仙台市文化観光局東北連携推進室
7	わしん倶楽部	42	仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室
学術・教育		43	仙台市危機管理室減災推進課
8	特定非営利活動法人 東北福祉大学防災士協議会Team Bousaisi	44	仙台市まちづくり政策局震災復興室
9	東北工業大学	45	宮城県図書館
10	復興大学	46	宮城県土木部防災砂防課
11	東北福祉大学/ 障がい者の減災を実現するイニシアティブ研究会/ 仙台市障害者福祉協会	47	東京臨海広域防災公園
12	宮城教育大学防災教育未来づくり総合研究センター	48	仙台管区気象台
13	災害看護グローバルリーダー養成プログラム(DNGL)	49	国土交通省国土地理院
14	仙台白百合学園高等学校	50	国土交通省東北地方整備局
15	石巻専修大学山崎ゼミナール	51	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
16	東北学院大学災害ボランティアステーション	52	国際復興支援プラットフォーム(IRP)
17	尚絅学院大学 ボランティアチームTASK(たすき)	53	独立行政法人国際協力機構(JICA)
18	尚絅学院大学放射線研究班 キリスト教保育連盟東北部会放射線 震災特別委員会	手仕事品販売	
19	東北大学災害科学国際研究所 産官学連携WG	54~57	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
20	東北大学災害科学国際研究所(減災ポケット「結」プロジェクト)	※53団体	
21	東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門 & 災害リスク研究部門津波工学研究分野		
22	東北大学大学院農学研究科東北復興農学センター		
23	國學院大學研究開発推進機構学術資料センター		
企業等			
24	高進商事株式会社		
25	株式会社KDDI総合研究所/ 国際航業株式会社/ 東北大学/ 株式会社日立ソリューションズ東日本/ 国立研究開発法人理化学研究所		
26	株式会社ハシカンブラ		
27	公益財団法人米日カウンシルージャパン		
28	井村屋株式会社		
29	大塚製薬株式会社 仙台支店 ニュートラシューティカルズ事業部		
30	株式会社エフエム仙台		
31	アイコム株式会社		
32	一般社団法人地域連携プラットフォーム		
33	一般社団法人日本自動販売機利活用社会貢献事業機構		
34	公益社団法人青年海外協力協会岩沼市スマイルサポートセンター		
35	有限会社コムテック		
36	宮城県解体工事業協同組合		



連携シンポジウム 同日開催！

本フォーラムと連携して隣接会場で開催されるイベントです。イベントの詳細及び参加方法については、各主催者にご確認ください。

1	東日本大震災6周年シンポジウム「災害研の活動と新たな一歩」	定員100名 申込優先	[第一部]9:45-11:40、[第二部]13:00-14:50 会場／仙台国際センター展示棟 展示室3
【主催】東北大学災害科学国際研究所 【共催】グローバル安全学トップリーダー育成プログラム		【問合せ】東北大学災害科学国際研究所 TEL 022-752-2049 FAX 022-752-2133	

概要

東北大学災害科学国際研究所(災害研)は、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進するとともに、国内外の巨大災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くための活動を続けています。発足から5年を迎えた昨年4月、災害研は新たな一歩を踏み出し、歩み始めました。今回の6周年シンポジウムでは、研究所の活動の成果報告に加えて、今年度から始まった新たな活動についての概要を報告します。

プログラム

- 開会の挨拶：今村 文彦 所長(津波工学)
- 第1部：災害研の活動の成果(9:50～11:40)
- 司会：奥村 誠 副所長(被災地支援)
- 趣旨説明…奥村 誠 副所長(被災地支援)
- 防災功労者内閣総理大臣表彰につながった活動…今村 文彦 所長
- 調査活動報告
 - ・熊本地震とハザード評価への教訓：遠田 晋次 教授(国際巨大災害)
 - ・台風10号による豪雨災害 ～岩手県の被害を中心に～：森口 周二 准教授(地域安全工学)
- 災害対応
 - ・平成28年熊本地震に対する東北大学病院災害派遣医療チーム(DMAT)の活動：佐々木 宏之 助教(災害医療国際協力)

- ・地域の暮らしと住まいの復興：岩田 司 教授(都市再生計画技術)
- ・東日本大震災の経験が生きたこと／生きなかったこと：丸谷 浩明 教授(防災社会システム)
- ・東北地方整備局との連携による人材育成：佐藤 健 教授(災害復興実践学)
- 実践的防災学の体系化と教育：村尾 修 教授(国際防災戦略)
- 第2部：災害研の新たな一歩(12:50～14:40)
- 司会：寺田 賢二郎 教授(地域安全工学)
- 趣旨説明：寺田 賢二郎 教授
- 緊急調査戦略会議：奥村 誠 副所長
- 共同利用・共同研究拠点化に向けて：伊藤 潔 教授(災害産婦人科学)
- プロジェクトエリア・ユニット：趣旨説明：富田 博秋 教授(災害精神医学)
 - ・「健康」エリアから：災害から命と健康を守るための学際研究：富田 博秋 教授
 - ・「情報」エリアから：学際研究による震災アーカイブから自然災害アーカイブへの転換：柴山 明寛 准教授(災害アーカイブ)
- 国連防災世界会議のその後
 - ・仙台防災枠組とは：泉 貴子 准教授(社会連携オフィス)
 - ・災害統計グローバルセンター／世界防災フォーラム：小野 裕一 教授(社会連携オフィス)
- 防災推進国民大会(防災こくたい)について：丸谷 浩明 教授
- 閉会の挨拶：丸谷 浩明 教授

2	震災から6年「人間の復興」は進んでいるか？ -「復興」を考える2日間-	定員70名 申込優先	10:30～16:00 会場／国際センター駅2階 青葉の風テラス
【主催】特定非営利活動法人イコールネット仙台、みやぎの女性支援を記録する会		【問合せ】特定非営利活動法人イコールネット仙台 TEL 090-1398-5065(佐藤) FAX 022-271-8226	

概要

東日本大震災からまもなく6年。震災からの「復興」はどうなっているのか。被災地の女性たちはいま、何を考え、どんな活動をしているのか。生きる力と営みを取り戻す「人間の復興」のこれからを見すえて、女性たちの6年間の到達点と課題を、東北3県の女性たちとともに3つのシンポジウムを通して全国に向けて発信します。震災から6年目となる2日間、復興の「いま」そして「これから」を一緒に考えてみませんか。

プログラム

- | | | |
|---|--|--|
| <p>【シンポジウムⅠ】3月11日(土)13:30～16:00
テーマ：宮城・岩手・福島にみる復興の「今」</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高橋 福子 氏
(エンバワメント11(い)わて 代表) ●遠藤 恵 氏
(「(特非)市民メディア・イコール 副理事長) ●宗片 恵美子 氏
(「(特非)イコールネット仙台 代表理事) <p>【コーディネーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浅野 富美枝 氏
(宮城学院女子大学 特任教授) | <p>【シンポジウムⅡ】3月12日(日)10:30～12:30
テーマ：～女性防災リーダーの活躍にみる可能性と課題～</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●室月 都子 氏
(女性防災ネット青葉 代表) ●高畑 信子 氏
(女性防災ネット宮城県 代表) ●紫野 みどり 氏
(女性防災ネット太白 代表) ●佐藤 由紀江 氏
(いわぬま女性防災リーダーの会) ●渡邊 和恵 氏
(男女共同参画推進団体サークルコロッケ) <p>【コーディネーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宗片 恵美子 氏
(「(特非)イコールネット仙台 代表理事) | <p>【シンポジウムⅢ】3月12日(日)13:30～16:00
テーマ：「女たちが動く」～執筆者たちの6年後～</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浅野 富美枝 氏(宮城学院女子大学 特任教授) ●五十嵐 美那子 氏(生活思想社 代表・編集者) ●伊藤 利花 氏
(自治労宮城県本部 中央執行委員長) ●内田 有美 氏
(性と人権ネットワークESTO スタッフ) ●佐藤 理絵 氏
(河北新報社夕刊編集部担当部長兼論説委員) ●須藤 明美 氏
(元 宮城登米えがおねっと 代表) ●八幡 悦子 氏
(NPO法人ハーティ仙台 代表理事) ●宗片 恵美子 氏
(「(特非)イコールネット仙台 代表理事) |
|---|--|--|

3	防災Innovator's Forum 2017 in Sendai -市民のアイデアから生まれる防災イノベーション-	定員150名 申込優先	[第一部]10:00-12:30、[第二部]13:30-16:00 会場／仙台国際センター展示棟 会議室1・2
【主催】防災減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)、ジャパン・プラットフォーム(JPF) 【共催】More Impact 【協力】国際協力NGOセンター、ADRRN、仙台YMCA 【後援】仙台市、宮城県		【問合せ】特定非営利活動法人CWS Japan TEL 03-6457-6840 FAX 03-6457-6840	

概要

この防災イノベーターズフォーラムにおいては「市民のアイデアによる新しい防災イノベーション」というコンセプトを中心に展開します。特に課題発見及び課題解決の視点を参加型で掘り下げます。

プログラム

- 開会…小美野 剛 氏(JCC-DRR 事務局、CWS Japan 事務局長)
- 基調パネル
 - ① 現場・日々の生活から課題発見の仕方
 - ② JPF・JCC-DRR加盟団体及びゲストスピーカー
 - 小美野 剛 氏(ファシリテーター、JCC-DRR事務局、CWS Japan事務局長)
 - 加藤 亜季子 氏(AAR Japan 東北事業統括)
 - 中村 清美 氏(国土防災技術(株)技術本部技術部海外協力課)
 - 打田 郁恵 氏(オリナスパートナーズ 共同代表)
- その他自治体等から登壇予定

- ワークショップ1
…防災と各テーマを掛け合わせた課題発見
(テーマ例：企業活動、教育・人づくり、観光、環境、ジェンダー)
- 各グループ発表
- ビデオ上映…タイトル「Discover the Future 336」
- 事例プレゼンテーション
…テーマ「熊本地震や東日本大震災の事例から学ぶ、セクターを超えた問題解決」
- ワークショップ2…今後のアクション計画づくり
- 各グループ発表
- 閉会…大橋 正明 氏(JCC-DRR共同代表、聖心女子大学教授)

申込優先 …事前申込優先ですが、当日参加も可能です。申込方法については、各主催者にお問い合わせください。

会場のご案内



地下鉄国際センター駅2階 会場図



仙台国際センター 展示棟 会場図

